

**訪問看護ステーションにおける BCP 策定に関する調査
調査結果報告書**

令和5年3月

広島県訪問看護ステーション協議会

目 次

I 調査の概要	
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	1
II 調査結果	
1 事業所の基本情報	2
(1) 看護職員の常勤換算数	2
(2) 管理者の経験年数	3
(3) 利用者総数	4
2 自然災害発生時におけるBCP(災害BCP)について	5
(1) 災害BCPの策定状況	5
(2) 災害BCP策定にあたり効果的であったこと	6
(3) 災害BCP策定において、難しいと感じていること	7
(4) 災害BCPを策定していない理由	9
3 感染症発生時におけるBCP(感染症BCP)について	10
(1) 感染症BCPの策定状況	10
(2) 感染症BCP策定にあたり効果的であったこと	11
(3) 感染症BCP策定において、難しいと感じていること	12
(4) 感染症BCPを策定していない理由	14
4 BCP策定に必要なこと	15
5 災害時等におけるステーション間での連携	17
6 BCP策定に関する研修会について	20
7 訪問看護ステーション協議会への要望	23

I 調査の概要

1 調査目的

県内の訪問看護ステーションにおけるBCP策定の支援事業を効果的に行うために、各訪問看護ステーションの現状と課題等を把握する。

2 調査設計

- (1) 調査地域 広島県全域
- (2) 調査対象 広島県内訪問看護ステーション 348 事業所
- (3) 調査方法 郵送配付、インターネットでの回答・郵送・FAXでの回答
- (4) 回収数 202 (回収率 58.0%)
- (5) 調査時期 令和5年1月～令和5年2月

3 報告書の見方

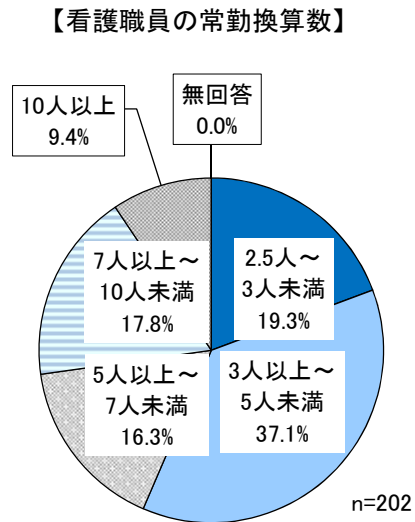
- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何施設の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ 調査結果

1 事業所の基本情報

(1) 看護職員の常勤換算数

問1 看護職員の常勤換算数（○は1つ）

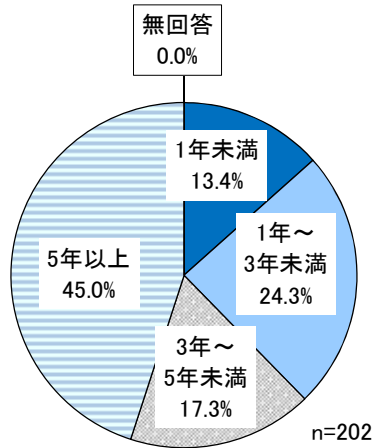


看護職員の常勤換算数について、「2.5人～3人未満」と回答した事業所が19.3%、「3人以上～5人未満」と回答した事業所の割合が37.1%と、『5人未満』の事業所が5割以上を占めている。

(2) 管理者の経験年数

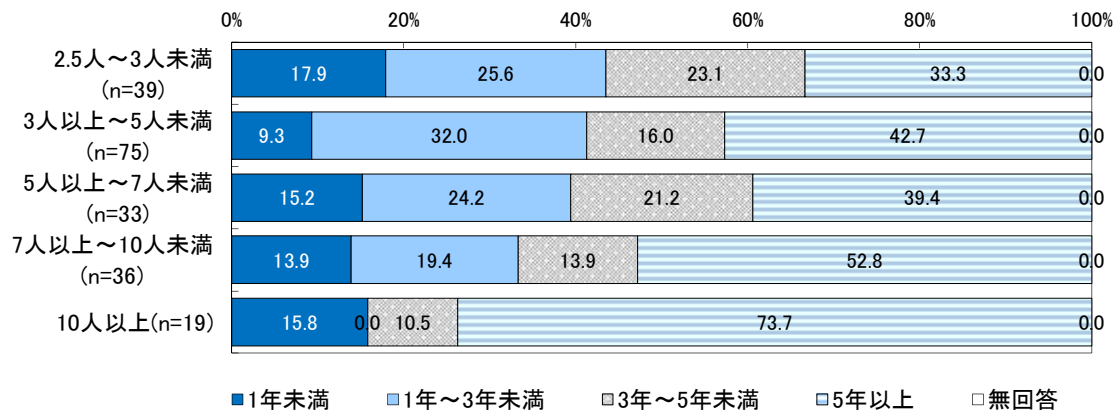
問2 管理者の経験年数 (○は1つ)

【管理者の経験年数】



管理者の経験年数について、「5年以上」と回答した事業所の割合が45.0%となっている。

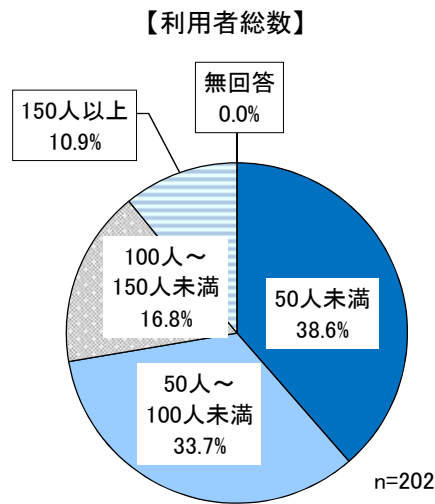
【管理者の経験年数(職員規模別)】



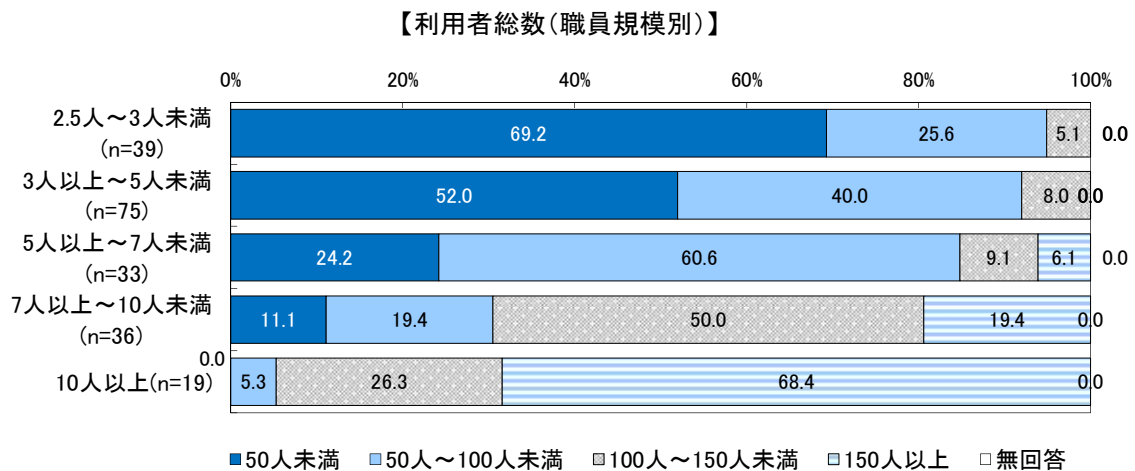
職員規模別にみると、「5年以上」と回答した事業所の割合は、規模が大きいほど高く、10人以上の事業所で7割台となっている。

(3) 利用者総数

問3 利用者総数【令和4年12月】(○は1つ)



利用者総数について、「50人未満」と回答した事業所の割合が38.6%、「50人～100人未満」と回答した事業所の割合が33.7%となっている。

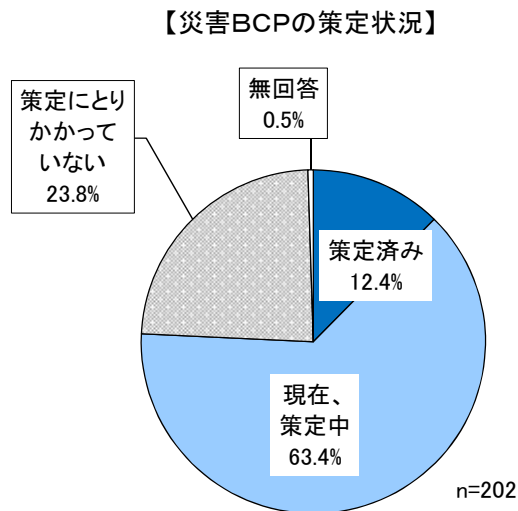


職員規模別にみると、「150人以上」と回答した事業所の割合は、規模が大きいほど高く、10人以上の事業所で6割台となっている。

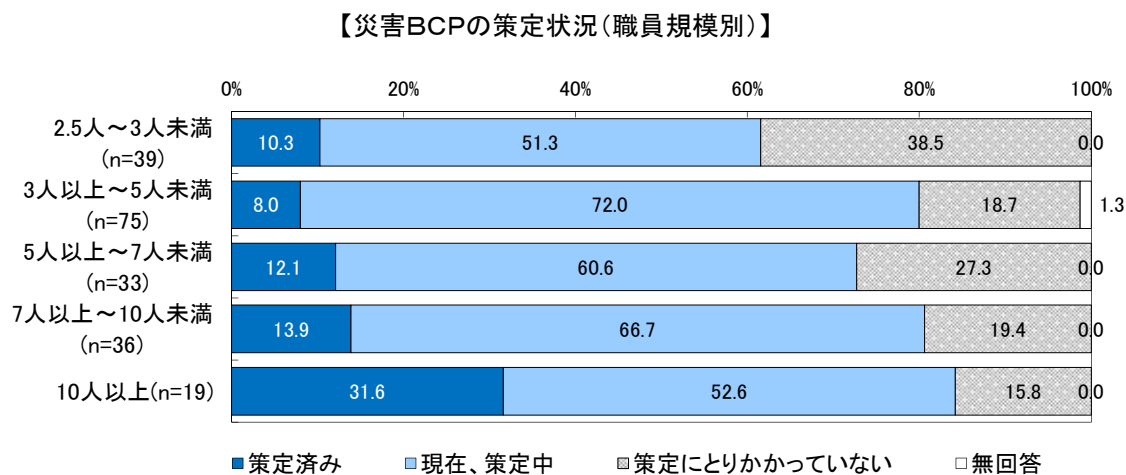
2 自然災害発生時におけるBCP(災害BCP)について

(1) 災害BCPの策定状況

問4 災害BCPの策定状況を回答してください。(○は1つ)



災害BCPの策定状況について、「策定済み」と回答した事業所の割合が12.4%、「現在、策定中」と回答した事業所の割合が63.4%となっている。



職員規模別にみると、「策定済み」と回答した事業所の割合は、10人以上の事業所で高く、31.6%となっており、他の規模では2割未満となっている。

2.5人~3人未満の事業所では、「策定にとりかかっていない」と回答した事業所が38.5%となっている。

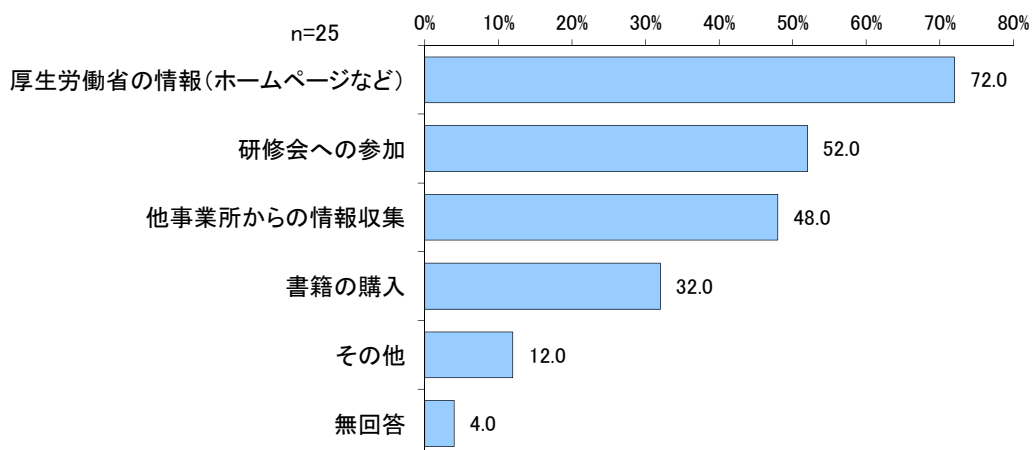
(2) 災害BCP策定にあたり効果的であったこと

問4で災害BCPを「策定済み」と回答した事業所のみ回答

問4-1 災害BCP策定にあたり効果的であったことは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

【災害BCP策定にあたり効果的であったこと】



災害BCP策定にあたり効果的であったことについて、「厚生労働省の情報（ホームページなど）」と回答した事業所の割合が72.0%と最も高く、「研修会への参加」(52.0%)、「他事業所からの情報収集」(48.0%)が続いている。

【災害BCP策定にあたり効果的であったこと(職員規模別)】

	回答数	厚生労働省の情報(ホームページなど)	研修会への参加	他事業所からの情報収集	書籍の購入	その他	無回答
2.5人～3人未満	4	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	-	-
3人以上～5人未満	6	83.3%	50.0%	66.7%	33.3%	16.7%	-
5人以上～7人未満	4	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-
7人以上～10人未満	5	100.0%	60.0%	60.0%	20.0%	-	-
10人以上	6	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%

職員規模別にみると、特徴的な差は見られない。

〔その他の回答〕

- 社内研修
- 講師による指導
- 併設病院のもの

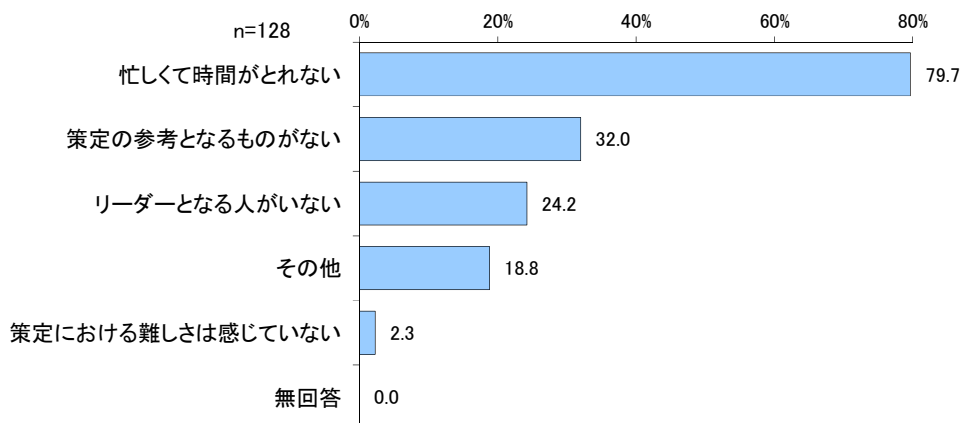
(3) 災害BCP策定において、難しいと感じていること

問4で災害BCPを「現在、策定中」と回答した事業所のみ回答

問4-2 災害BCP策定において、難しいと感じていることは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

【災害BCP策定において、難しいと感じていること】



災害BCP策定において、難しいと感じていることについて、「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が79.7%と最も高く、「策定の参考となるものがない」(32.0%)、「リーダーとなる人がいない」(24.2%)が続いている。

【災害BCP策定において、難しいと感じていること(職員規模別)】

	回答数	忙しくて時間がとれない	策定の参考となるものがない	リーダーとなる人がいない	その他	策定における難しさは感じていない	無回答
2.5人～3人未満	20	80.0%	40.0%	25.0%	20.0%	-	-
3人以上～5人未満	54	77.8%	33.3%	27.8%	20.4%	1.9%	-
5人以上～7人未満	20	70.0%	40.0%	20.0%	25.0%	5.0%	-
7人以上～10人未満	24	83.3%	29.2%	12.5%	16.7%	4.2%	-
10人以上	10	100.0%	-	40.0%	-	-	-

職員規模別にみると、いずれの規模においても「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が高くなっている。

[その他の回答]

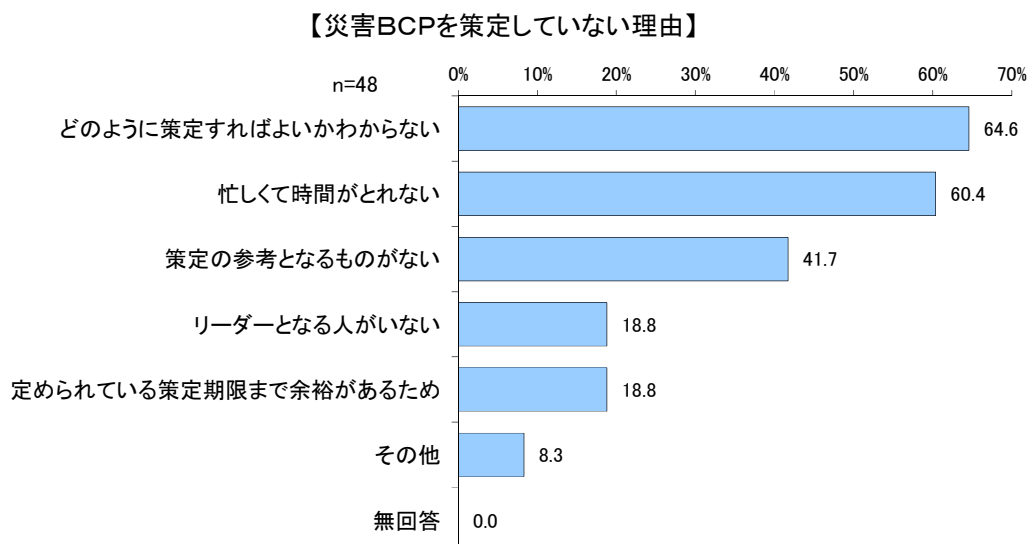
- 自事業所に当てはめて作成することが難しいと感じている。
- 色々な所から出ている雛形に当てはまらず行き詰まる。
- 大まかな項目は作れるが、実際に動けるものにするのが難しい。
- 方法としてあっているのか迷う事がある時の相談場所がない。
- 策定の範囲が幅広く、どこから取り掛かるか迷う。
- 事業所の規模が小さくて振り分ける担当者がいない。
- 時間的制約による職員の参加が難しく、ほぼ1人の者で策定している。
- 職員数が少ないので災害BCP係の人の負担が大きい。
- 母体施設との調整
- 法人内の事業所のため、法人の確認作業も多く、未決定内容もあり、進めにくい。
- マニュアルなど作成中のため。
- ハザードマップ等の把握が難しい。
- 災害時に出勤可能なスタッフが2名程度と予測され、役割分担等が難しい。
- 職員の安全も考え、利用者に対してどこまで介入すべきか市町との調整ができていない。
- 内容そのものが難しい
- どこまで想定して策定すべきなのか。

(4) 災害BCPを策定していない理由

問4で災害BCP「策定にとりかかっていない」と回答した事業所のみ回答

問4-3 災害BCPを策定していない理由を回答してください。

(○はあてはまるものすべて)



災害BCPを策定していない理由について、「どのように策定すればよいかわからない」と回答した事業所の割合が64.6%と最も高く、「忙しくて時間がとれない」(60.4%)、「策定の参考となるものがない」(41.7%)が続いている。

【災害BCPを策定していない理由(職員規模別)】

	回答数	どのように策定すればよいかわからない	忙しくて時間がとれない	策定の参考となるものがない	リーダーとなる人がいない	定められている策定期限まで余裕があるため	その他	無回答
2.5人～3人未満	15	60.0%	60.0%	53.3%	13.3%	13.3%	6.7%	-
3人以上～5人未満	14	64.3%	64.3%	35.7%	28.6%	28.6%	7.1%	-
5人以上～7人未満	9	77.8%	33.3%	55.6%	22.2%	11.1%	22.2%	-
7人以上～10人未満	7	57.1%	85.7%	28.6%	14.3%	28.6%	-	-
10人以上	3	66.7%	66.7%	-	-	-	-	-

職員規模別にみると、2.5～3人未満、3人以上～5人未満、10人以上の事業所では、「どのように策定すればよいかわからない」、「忙しくて時間がとれない」と回答した割合がともに最も高く、5人以上～7人未満の事業所では「どのように策定すればよいかわからない」が、7人～10人未満の事業所では「忙しくて時間がとれない」が最も高くなっている。

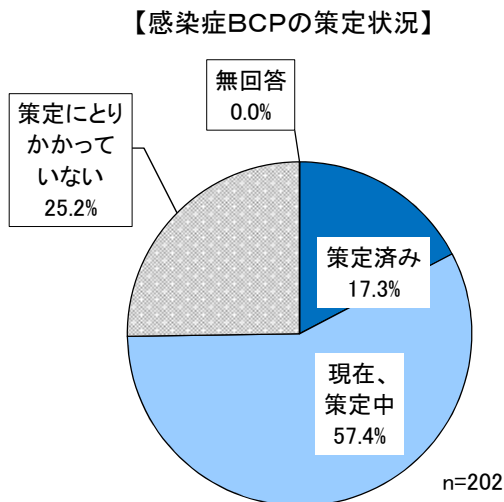
〔その他の回答〕

- 母体病院の作成後リンクして作成予定。

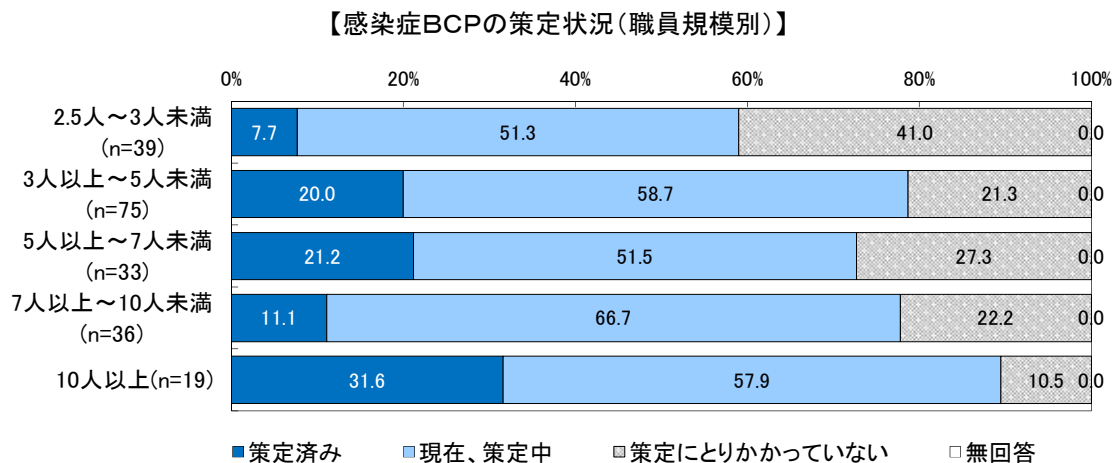
3 感染症発生時におけるBCP(感染症BCP)について

(1) 感染症BCPの策定状況

問5 感染症BCPの策定状況を回答してください。(○は1つ)



感染症BCPの策定状況について、「策定済み」と回答した事業所の割合が17.3%、「現在、策定中」と回答した事業所の割合が57.4%となっている。



職員規模別にみると、「策定済み」と回答した事業所の割合は、10人以上の事業所で31.6%となっている。

「策定にとりかかっていない」と回答した事業所の割合は、2.5人～3人未満の事業所で41.0%となっている。

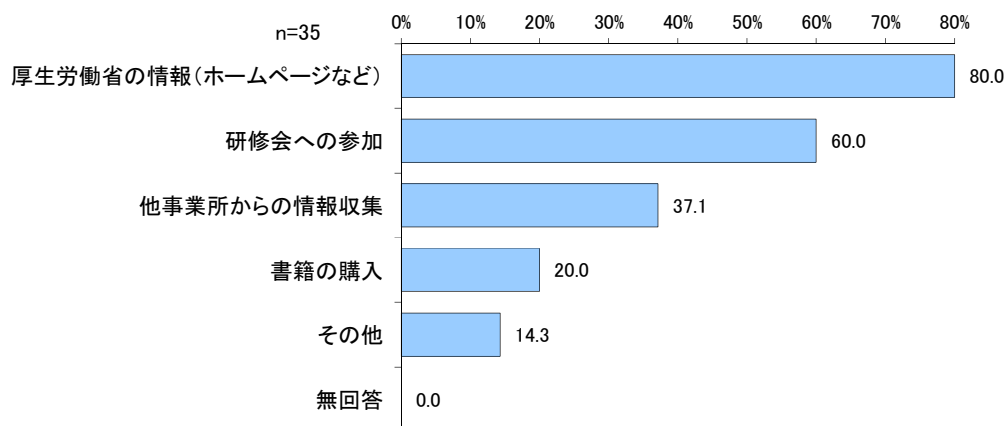
(2) 感染症BCP策定にあたり効果的であったこと

問5で感染症BCPを「策定済み」と回答した事業所のみ回答

問5-1 感染症BCP策定にあたり効果的であったことは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

【感染症BCP策定にあたり効果的であったこと】



感染症BCP策定にあたり効果的であったことについて、「厚生労働省の情報（ホームページなど）」と回答した事業所の割合が80.0%と最も高く、「研修会への参加」(60.0%)、「他事業所からの情報収集」(37.1%)が続いている。

【感染症BCP策定にあたり効果的であったこと(職員規模別)】

	回答数	厚生労働省の情報(ホームページなど)	研修会への参加	他事業所からの情報収集	書籍の購入	その他	無回答
2.5人～3人未満	3	66.7%	66.7%	33.3%	-	-	-
3人以上～5人未満	15	80.0%	46.7%	40.0%	13.3%	13.3%	-
5人以上～7人未満	7	85.7%	71.4%	28.6%	28.6%	28.6%	-
7人以上～10人未満	4	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	-	-
10人以上	6	83.3%	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%	-

職員規模別にみると、「厚生労働省の情報（ホームページなど）」と回答した事業所の割合は、3人以上～5人未満、5人以上～7人未満、10人以上の事業所で8割台となっている。

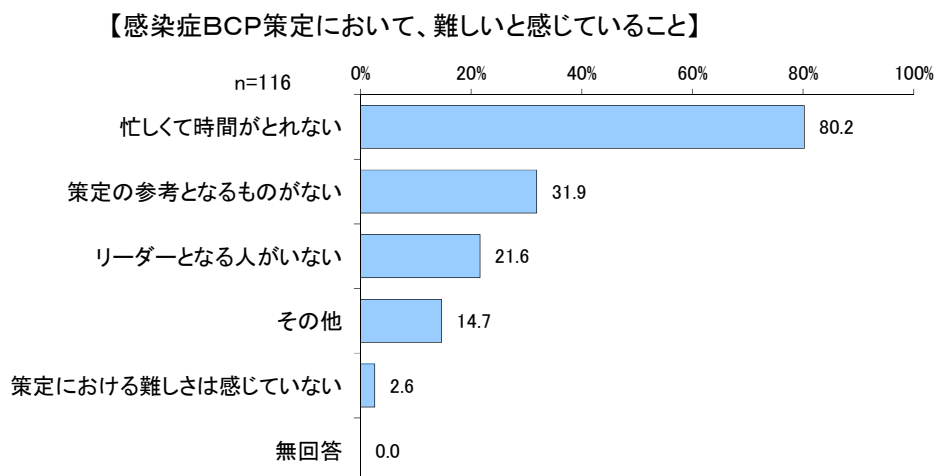
〔その他の回答〕

- 他事業所・併設病院のPCB
- 社内研修
- 講師による指導

(3) 感染症BCP策定において、難しいと感じていること

問5で感染症BCPを「現在、策定中」と回答した事業所のみ回答

問5-2 感染症BCP策定において、難しいと感じていることは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)



感染症BCP策定において、難しいと感じていることについて、「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が80.2%と最も高く、「策定の参考となるものがない」(31.9%)、「リーダーとなる人がいない」(21.6%)が続いている。

【感染症BCP策定において、難しいと感じていること(職員規模別)】

	回答数	忙しくて時間がとれない	策定の参考となるものがない	リーダーとなる人がいない	その他	策定における難しさは感じていない	無回答
2.5人～3人未満	20	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	5.0%	-
3人以上～5人未満	44	79.5%	36.4%	25.0%	15.9%	-	-
5人以上～7人未満	17	70.6%	35.3%	11.8%	23.5%	5.9%	-
7人以上～10人未満	24	83.3%	37.5%	12.5%	4.2%	4.2%	-
10人以上	11	100.0%	9.1%	36.4%	-	-	-

職員規模別にみると、いずれの規模においても「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が高くなっている。

[その他の回答]

- 色々な所から出ている雛形に当てはめられず行き詰まる。
- 大まかな項目は作れるが実際に動けるものにするのが難しい。
- 法人自体のBCPに加え、訪問看護ならではの物を加える必要があると思われる。
- 事業所の規模が小さく振り分ける担当者が少ない。
- 職員数が少ないので感染BCP係の人の負担が大きい。
- 併設病院との整合性
- 法人への確認をしながらのため、時間がかかる。
- 法人全体での作成のため、時間がかかっている。
- 国の方針内容も変わるため、その都度対応を修正しなければならず、マニュアルも変更中である。
- 地域の他のステーションとの整合性にとりかかれていない。

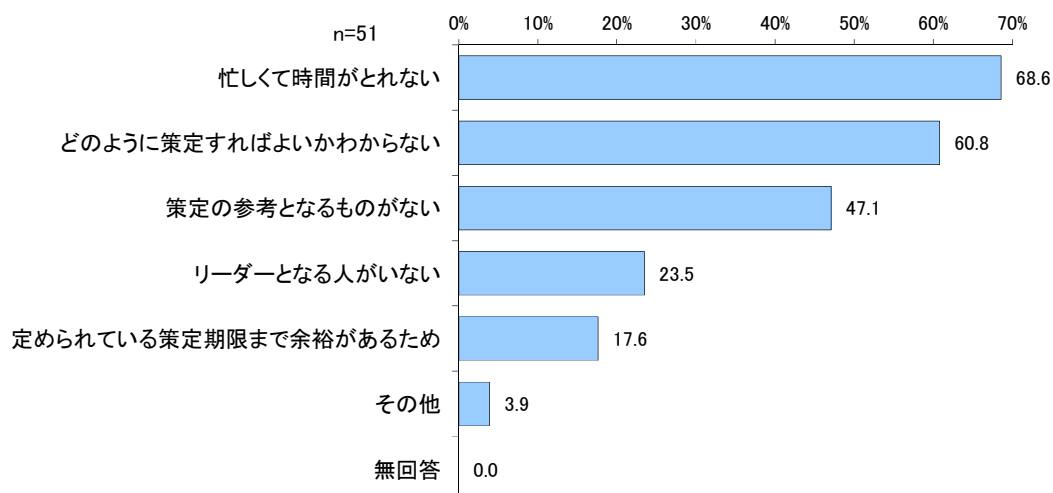
(4) 感染症BCPを策定していない理由

問5で感染症BCP「策定にとりかかっていない」と回答した事業所のみ回答

問5-3 感染症BCPを策定していない理由を回答してください。

(○はあてはまるものすべて)

【感染症BCPを策定していない理由】



感染症BCPを策定していない理由について、「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が68.6%と最も高く、「どのように策定すればよいかわからない」(60.8%)、「策定の参考となるものがない」(47.1%)が続いている。

【感染症BCPを策定していない理由(職員規模別)】

	回答数	忙しくて時間がとれない	どのように策定すればよいかわからない	策定の参考となるものがない	リーダーとなる人がいない	定められている策定期限まで余裕があるため	その他	無回答
2.5人~3人未満	16	62.5%	50.0%	43.8%	25.0%	18.8%	6.3%	-
3人以上~5人未満	16	81.3%	68.8%	50.0%	31.3%	31.3%	-	-
5人以上~7人未満	9	44.4%	77.8%	66.7%	22.2%	11.1%	11.1%	-
7人以上~10人未満	8	75.0%	50.0%	37.5%	12.5%	-	-	-
10人以上	2	100.0%	50.0%	-	-	-	-	-

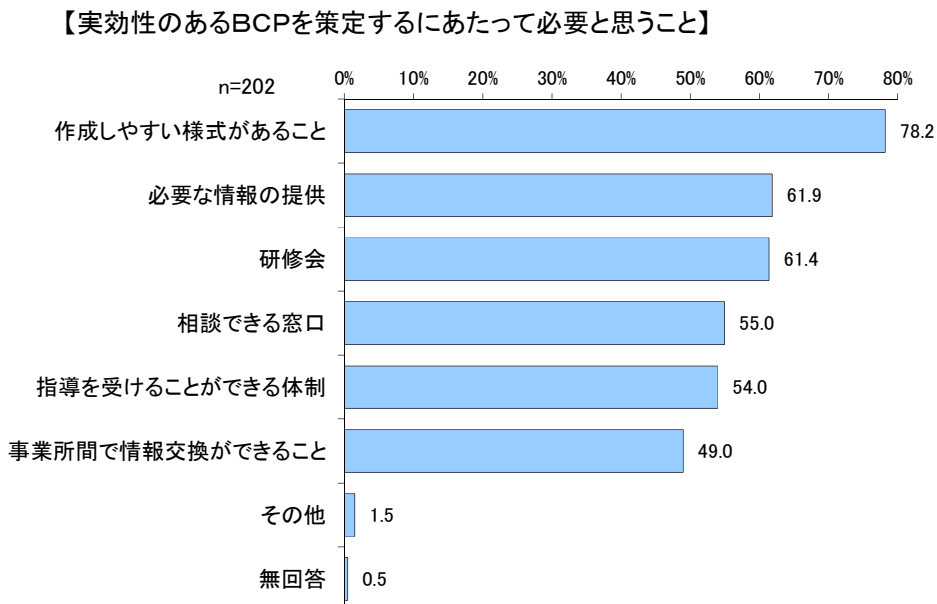
職員規模別にみると、5人以上~7人未満を除く事業所では「忙しくて時間がとれない」と回答した事業所の割合が最も高く、5人以上~7人未満の事業所では「どのように策定すればよいかわからない」と回答した事業所の割合が最も高くなっている。

〔その他の回答〕

- 母体病院の作成後リンクして作成予定。

4 BCP策定に必要なこと

問6 実効性のあるBCPを策定するにあたって必要と思われることは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)



実効性のあるBCPを作成するにあたって必要と思うことについて、「作成しやすい様式があること」と回答した事業所の割合が78.2%と最も高く、「必要な情報の提供」(61.9%)、「研修会」(61.4%)が続いている。

【実効性のあるBCPを策定するにあたって必要と思うこと(職員規模別)】

	回答数	作成しやすい様式があること	必要な情報の提供	研修会	相談できる窓口	指導を受けることができる体制	事業所間で情報交換ができること	その他	無回答
2.5人～3人未満	39	79.5%	64.1%	61.5%	48.7%	48.7%	33.3%	5.1%	-
3人以上～5人未満	75	80.0%	64.0%	66.7%	57.3%	52.0%	50.7%	1.3%	1.3%
5人以上～7人未満	33	75.8%	57.6%	60.6%	54.5%	66.7%	66.7%	-	-
7人以上～10人未満	36	75.0%	61.1%	50.0%	52.8%	55.6%	47.2%	-	-
10人以上	19	78.9%	57.9%	63.2%	63.2%	47.4%	47.4%	-	-

職員規模別にみると、「作成しやすい様式があること」と回答した事業所の割合は、いずれの規模においても高くなっている。

5人以上～7人未満の事業所では、「指導を受けることができる体制」、「事業所間で情報交換ができること」と回答した事業所の割合が6割台後半となっている。

【その他の回答】

- 零細事業所も救済しあえる組織体制を構築する。

【実効性のあるBCPを策定するにあたって必要と思うこと(災害BCPの策定状況別)】

	回答数	作成しやすい様式があること	必要な情報の提供	研修会	相談できる窓口	指導を受けることができる体制	事業所間で情報交換ができること	その他	無回答
策定済み	25	64.0%	52.0%	44.0%	48.0%	60.0%	64.0%	-	-
現在、策定中	128	78.9%	62.5%	65.6%	54.7%	57.0%	52.3%	2.3%	-
策定にとりかかっていない	48	85.4%	66.7%	60.4%	60.4%	43.8%	33.3%	-	-

災害BCPの策定状況別にみると、「現在、策定中」の事業所では、「作成しやすい様式があること」(78.9%)、「研修会」(65.6%)、「必要な情報の提供」(62.5%)の順で高くなっている。

「策定にとりかかっていない」事業所では、「作成しやすい様式があること」(85.4%)、「必要な情報の提供」(66.7%)、「研修会」(60.4%)、「相談できる窓口」(60.4%)の順で高くなっている。

【実効性のあるBCPを策定するにあたって必要と思うこと(感染症BCPの策定状況別)】

	回答数	作成しやすい様式があること	必要な情報の提供	研修会	相談できる窓口	指導を受けることができる体制	事業所間で情報交換ができること	その他	無回答
策定済み	35	62.9%	65.7%	62.9%	57.1%	60.0%	51.4%	-	-
現在、策定中	116	81.0%	60.3%	62.1%	51.7%	56.9%	55.2%	2.6%	-
策定にとりかかっていない	51	82.4%	62.7%	58.8%	60.8%	43.1%	33.3%	-	2.0%

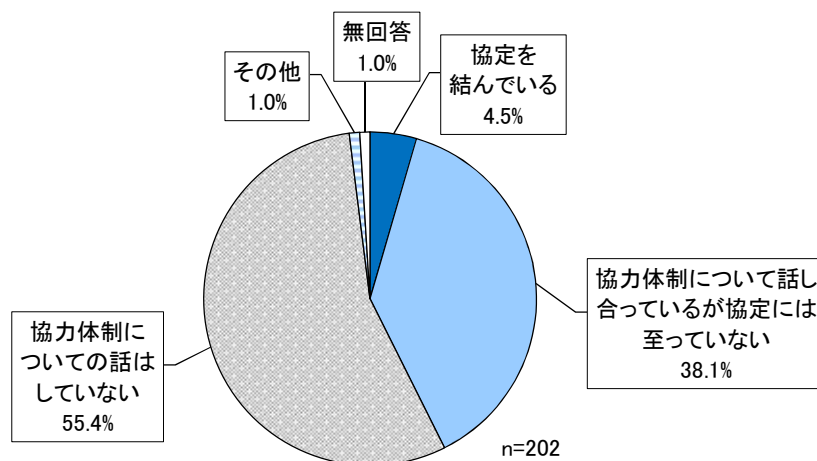
感染症BCPの策定状況別にみると、「現在、策定中」の事業所では、「作成しやすい様式があること」(81.0%)、「研修会」(62.1%)、「必要な情報の提供」(60.3%)の順で高くなっている。

「策定にとりかかっていない」事業所では、「作成しやすい様式があること」(82.4%)、「必要な情報の提供」(62.7%)、「相談できる窓口」(60.8%)の順で高くなっている。

5 災害時等におけるステーション間での連携

問7 近隣の訪問看護ステーション間での災害時等における協力関係を回答してください。(○は1つ)

【近隣の訪問看護ステーション間での災害時等における協力関係】

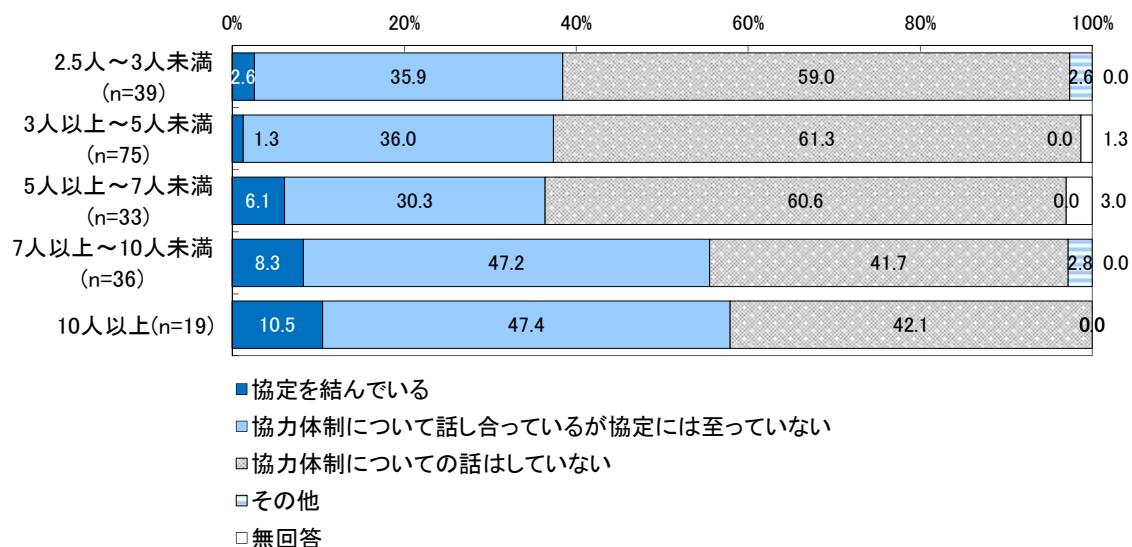


近隣の訪問介護ステーション間での災害時等における協力関係について、「協定を結んでいる」と回答した事業所の割合が4.5%、「協力体制について話し合っているが協定には至っていない」と回答した事業所の割合が38.1%、「協力体制についての話ししていない」と回答した事業所の割合が55.4%となっている。

【その他の回答】

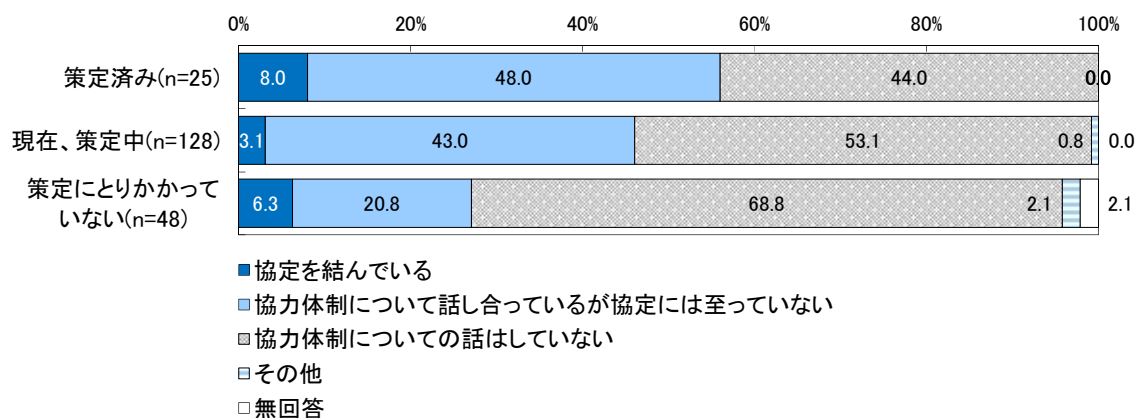
- 近隣が遠すぎて協力をお願いできていない。

【近隣の訪問看護ステーション間での災害時等における協力関係(職員規模別)】



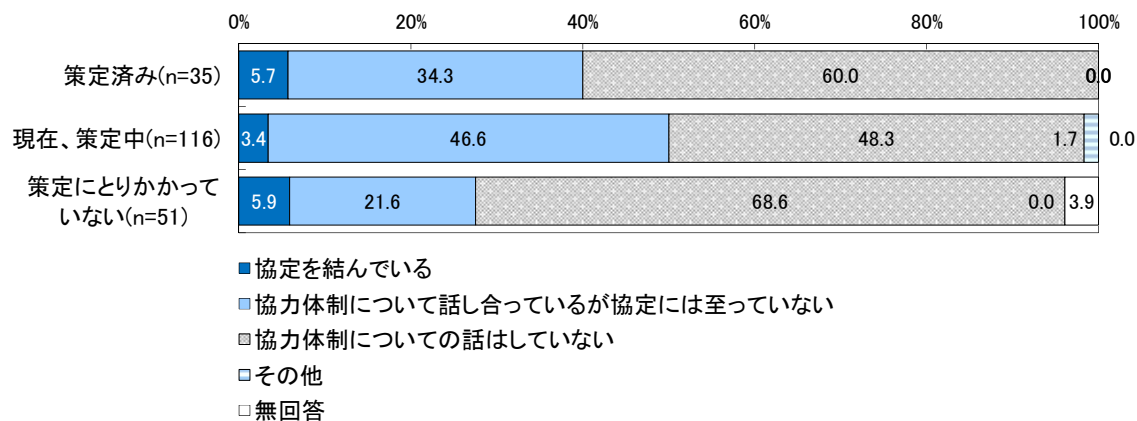
職員規模別にみると、「協定を結んでいる」と回答した事業所の割合は、いずれの規模においても低くなっており、7人未満の事業所では「協力体制についての話はしていない」と回答した事業所の割合が、7人以上の事業所では「協力体制について話し合っているが協定には至っていない」と回答した事業所の割合が最も高くなっている。

【近隣の訪問看護ステーション間での災害時等における協力関係(災害BCPの策定状況別)】



災害BCPの策定状況別にみると、いずれの策定状況においても「協定を結んでいる」と回答した事業所の割合は1割に満たない。

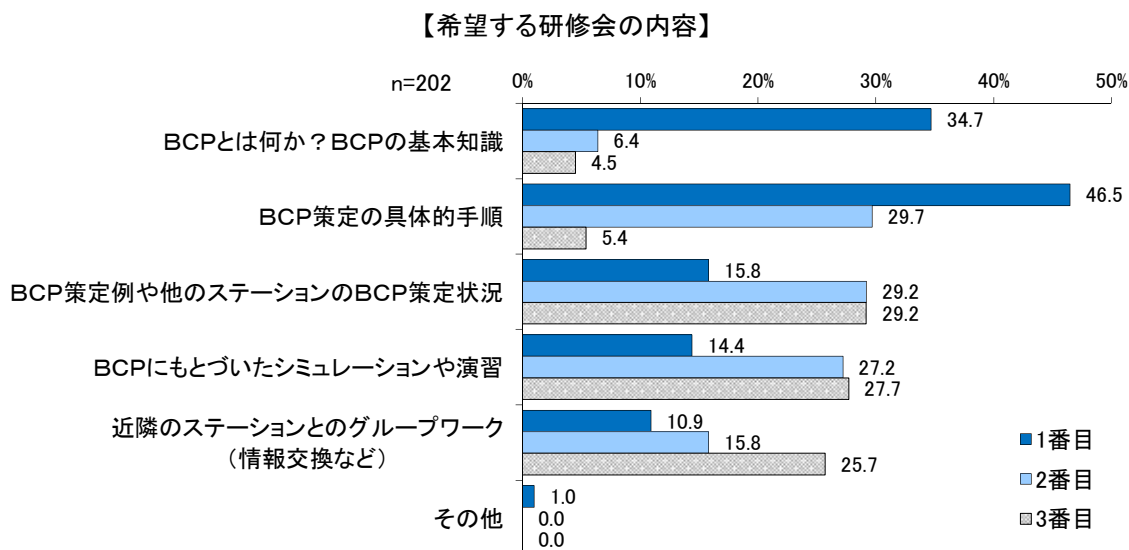
【近隣の訪問看護ステーション間での災害時等における協力関係(感染症BCPの策定状況別)】



感染症BCPの策定状況別にみると、いずれの策定状況においても「協定を結んでいる」と回答した事業所の割合は1割に満たない。

6 BCP策定に関する研修会について

問8 希望する研修会の内容を必要性の高い順に3つ回答してください。



希望する研修会の内容について、必要性が1番目に高い研修会の内容として、「BCP策定の具体的手順」と回答した事業所の割合が46.5%と最も高く、次いで「BCPとは何か？BCPの基本知識」(34.7%)となっている。

〔その他の回答〕

- 近隣市町の訪問看護との連携や、避難先への協力が必要かの情報が迅速に共有できればいいと思う。
- 協定へ結びつける会議方法や内容
- ステーションの規模に応じた策定例

【希望する研修会の内容(職員規模別)】

		回答数	1番目	2番目	3番目	無回答
2.5人～ 3人未満	BCPとは何か？BCPの基本知識	39	56.4%	7.7%	2.6%	33.3%
	BCP策定の具体的手順	39	46.2%	38.5%	2.6%	12.8%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	39	20.5%	20.5%	35.9%	23.1%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	39	20.5%	33.3%	20.5%	25.6%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	39	23.1%	15.4%	17.9%	43.6%
	その他	39	-	-	-	100.0%
3人以上～ 5人未満	BCPとは何か？BCPの基本知識	75	28.0%	8.0%	5.3%	58.7%
	BCP策定の具体的手順	75	48.0%	28.0%	4.0%	20.0%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	75	21.3%	30.7%	24.0%	24.0%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	75	13.3%	25.3%	32.0%	29.3%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	75	5.3%	16.0%	26.7%	52.0%
	その他	75	1.3%	-	-	98.7%
5人以上～ 7人未満	BCPとは何か？BCPの基本知識	33	48.5%	6.1%	-	45.5%
	BCP策定の具体的手順	33	36.4%	39.4%	3.0%	21.2%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	33	12.1%	24.2%	30.3%	33.3%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	33	9.1%	21.2%	30.3%	39.4%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	33	6.1%	9.1%	36.4%	48.5%
	その他	33	-	-	-	100.0%
7人以上～ 10人未満	BCPとは何か？BCPの基本知識	36	16.7%	5.6%	8.3%	69.4%
	BCP策定の具体的手順	36	61.1%	16.7%	2.8%	19.4%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	36	5.6%	38.9%	27.8%	27.8%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	36	13.9%	30.6%	30.6%	25.0%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	36	8.3%	22.2%	25.0%	44.4%
	その他	36	2.8%	-	-	97.2%
10人以上	BCPとは何か？BCPの基本知識	19	26.3%	-	5.3%	68.4%
	BCP策定の具体的手順	19	31.6%	26.3%	26.3%	15.8%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	19	10.5%	31.6%	36.8%	21.1%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	19	15.8%	26.3%	15.8%	42.1%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	19	21.1%	15.8%	21.1%	42.1%
	その他	19	-	-	-	100.0%

職員規模別にみると、必要性が1番目に高い研修会の内容として最も回答割合が高いのは、2.5人～3人未満、5人以上～7人未満の事業所では「BCPとは何か？BCPの基本知識」、3人以上～5人未満、7人以上～10人未満、10人以上の事業所では「BCP策定の具体的手順」となっている。

【希望する研修会の内容(災害BCPの策定状況別)】

		回答数	1番目	2番目	3番目	無回答
策定済み	BCPとは何か？BCPの基本知識	25	32.0%	4.0%	8.0%	56.0%
	BCP策定の具体的手順	25	28.0%	36.0%	4.0%	32.0%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	25	20.0%	20.0%	32.0%	28.0%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	25	24.0%	36.0%	28.0%	12.0%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	25	24.0%	12.0%	24.0%	40.0%
	その他	25	4.0%	-	-	96.0%
現在、策定中	BCPとは何か？BCPの基本知識	128	30.5%	5.5%	2.3%	61.7%
	BCP策定の具体的手順	128	47.7%	25.8%	7.0%	19.5%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	128	15.6%	30.5%	25.8%	28.1%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	128	16.4%	30.5%	28.1%	25.0%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	128	8.6%	19.5%	28.1%	43.8%
	その他	128	0.8%	-	-	99.2%
策定にとりかかっている	BCPとは何か？BCPの基本知識	48	47.9%	10.4%	8.3%	33.3%
	BCP策定の具体的手順	48	54.2%	37.5%	2.1%	6.3%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	48	14.6%	31.3%	37.5%	16.7%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	48	4.2%	14.6%	27.1%	54.2%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	48	10.4%	8.3%	20.8%	60.4%
	その他	48	-	-	-	100.0%

災害BCPの策定状況別にみると、必要性が1番目に高い研修会の内容として最も回答割合が高いのは、「策定済み」の事業所では「BCPとは何か？BCPの基本知識」、
「現在、策定中」の事業所、「策定にとりかかっている」事業所では「BCP策定の具体的手順」となっている。

【希望する研修会の内容(感染症BCPの策定状況別)】

		回答数	1番目	2番目	3番目	無回答
策定済み	BCPとは何か？BCPの基本知識	35	34.3%	2.9%	2.9%	60.0%
	BCP策定の具体的手順	35	25.7%	37.1%	2.9%	34.3%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	35	20.0%	20.0%	28.6%	31.4%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	35	14.3%	31.4%	37.1%	17.1%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	35	14.3%	14.3%	22.9%	48.6%
	その他	35	2.9%	-	-	97.1%
現在、策定中	BCPとは何か？BCPの基本知識	116	31.0%	5.2%	3.4%	60.3%
	BCP策定の具体的手順	116	48.3%	27.6%	6.9%	17.2%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	116	15.5%	31.0%	29.3%	24.1%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	116	18.1%	27.6%	26.7%	27.6%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	116	9.5%	18.1%	26.7%	45.7%
	その他	116	0.9%	-	-	99.1%
策定にとりかかっている	BCPとは何か？BCPの基本知識	51	43.1%	11.8%	7.8%	37.3%
	BCP策定の具体的手順	51	56.9%	29.4%	3.9%	9.8%
	BCP策定例や他のステーションのBCP策定状況	51	13.7%	31.4%	29.4%	25.5%
	BCPにもとづいたシミュレーションや演習	51	5.9%	23.5%	23.5%	47.1%
	近隣のステーションとのグループワーク(情報交換など)	51	11.8%	11.8%	25.5%	51.0%
	その他	51	-	-	-	100.0%

感染症BCPの策定状況別にみると、必要性が1番目に高い研修会の内容として最も回答割合が高いのは、「策定済み」の事業所では「BCPとは何か？BCPの基本知識」、
「現在、策定中」の事業所、「策定にとりかかっている」事業所では「BCP策定の具体的手順」となっている。

7 訪問看護ステーション協議会への要望

問9 災害時等において、広島県訪問看護ステーション協議会に期待することについて記入してください。

1.情報提供・共有について

- 災害状況、協力体制等情報の発信等
- 災害情報や災害時の支援状況についての情報発信
- 率先して被害状況や救援の必要性などを情報収集して、対応していただきたい。
- 被災地区では何が必要でどのように他の地区のステーションが支援したら良いのかを把握し、発信してほしい。
- 災害時等の時、災害の状況や他の訪問ステーションの状況を教えていただきたい。
- 情報発信の拠点化を期待する。
- 速やかにステーション間の連携が図れるように情報提供等をお願いしたい。
- 災害などで医療物資の供給が滞った時に、中心的になって物資がどこにどれだけ有り、借りられるといった情報がほしいです。
- 被害情報を取りまとめたものの情報提供、不足しているものや、困っていることを拾い上げてほしい。
- 通信手段を確保した情報発信
- 情報共有の伝達が迅速に行われること
- 大規模ステーションのように対応できないことについての情報提供やアドバイス
- 小規模事業所で情報が少ないため、情報がほしい。
- 災害時の現状、対応について、実際に困った事、準備しておいてよかった事等あれば、情報提供、共有してほしい。
- BCPに関する情報の発信

2.協力体制・協定について

- 災害時は近隣も同様の状況が考えられることを踏まえ、県レベル・国レベル、あるいは同じ訪問看護事業者レベルでの協定が必要だと考えるため、協議会には全国レベルでの協定締結等、リードを取ってほしい。
- 大規模災害時などに、公益法人、医療法人、営利法人など問わず、大小も問わず多くの事業所が参加できる協力体制の組織化
- 災害時において、訪問看護ステーションの動向や活動状況などが把握でき、状況に応じ連携が図れる体制づくりができるような措置があればよいと思う。
- 訪問看護のネットワーク作りや連携を深める。その他、社会資源や自治体等の協力、体制作りを深める。
- 大規模災害時における早い段階での被災者（避難所等）訪問。利用者支援困難時等における訪問支援体制の構築（医療資材・医療機器等の支援も含む）
- 被害を受けているステーションを援助する体制
- 訪問看護ステーション間の相互支援体制（人、物、情報等）の具体的な取組

- 相談役、他ステーションとの橋渡し、人員確保の調整
- 訪問看護ステーション協議会様には、発災時のいろいろな情報発信や状況に応じて被害の大きい地域に派遣するなどの支援
- 災害の被害が少ない事業所から災害で業務が回らない事務所への人員を派遣するなどの調整補助
- 災害時のステーション運営に関わる指針や補助
- チャットなどの立ち上げで、ステーション間で連絡が取りやすい体制づくりをしてほしい。
- ステーション間での連携において、協定を結んでいる事業所間で、具体的にどのように連携するのか、また、担当ケアマネなどの他職種とのやり取り等の内容をご紹介してほしい。
- 協定を結び、協力関係をとっている事業所の実際の活動状況がわかれば教えてほしい。
- 近隣ステーションとの協力体制について、どのような内容を協力すべきか、ひな形等を教えてほしい。
- 他の事業所との連携の橋渡し。

3.相談体制について

- 大規模災害時において、緊急相談先に常に連絡が取れ、相談場所を設置してほしい。
- 災害の規模が大きい場合の各ステーションからの相談窓口
- スムーズに相談できる体制
- 相談窓口を明らかにして誰もが利用できるようにする。
- 災害等で困ったことがあった時に相談させてほしい。
- 具体的なアドバイス

4.研修会の開催について

- 研修会の開催（災害に対する訪問看護の必要性など 東日本大震災、熊本地震などでの体験など）
- 地域によってはBCPの研修など積極的に医師会と共同で行われていますが、当事業所に案内が届いていないため研修終了後に知ることがあった。
- 災害時のシミュレーションの紹介、研修等
- 定期的な研修会の開催
- BCPの基本データや資料などあれば策定がしやすい。
- 実際の研修などがあれば今後の実際の場面で使えると思う。
- 季節ごとに災害時のシミュレーションや演習を行うよう、計画を立てていただきたい
- 研修会を増やし、グループワーク等で意見交換ができる場を増やす。

5.物資の提供について

- 物資や人的支援
- 各ステーションが、災害時に必要物品の供給するサポートを受けることができる。

6.マニュアルの作成について

- 協議会でBCP作成のマニュアルなどを配布してほしい。
- 具体的な作成手順の提示
- ステーションの規模により違いが出てくるため、少人数のステーションで活用できるBCP実例等の紹介をしてもらいたい。
- スタンドアードを開示してもらえたら自ステーションに反映させやすい。

7.その他

- 停電時の緊急連絡方法があれば教えてほしい。
- BCPの内容の評価
- 訪問看護のみならず、居宅介護、訪問介護との連携で地域の人へのケアを切れ目なく提供できたらよいと思う。
- 具体的な協力体制や情報共有の方法を整えてほしい。
- 迅速な指示を出してほしい。
- 主治医から指示が得られない場合の訪問看護ステーションへの支援。